

ボランティアだより

# ほのボラ

2022年7月発行

No. 106

発行 京丹波町社会福祉協議会

〒622-0213

京丹波町須知鍋倉1番地1

TEL: 0771-82-0126 (地域福祉課)

FAX: 0771-82-2206

URL: <http://www.kyoshakyo.or.jp/kyotanba>

社協キャラクター



ここたん  
cocoTan



## 出前講座

京丹波町社協では、「出前講座」を行っています。

「これからの季節、台風が来たり、大雨が降ったりすることがあるので防災について話を聞きたい」や「コロナ禍で体を動かす機会が減ったので、体操教室をお願いしたい」といったご要望にお応えし、社協職員や保健師などが出向きます。まだまだコロナ禍が落ち着きませんが、感染予防対策を講じて集まるきっかけに出前講座をご利用ください。お気軽にご連絡ください。



防災講座



体操教室

A あかるく A あたまをつかって A あきらめない



## スリーA(エー)教室

8月	4日(木)
	18日(木)
9月	1日(木)
	15日(木)

場所

京丹波町役場庁舎内

時間

午前10時～11時30分

利用料

1回100円

(内容によっては別途実費負担あり)

どなたでも参加可能ですので、お友達を誘って、一緒に頭の体操にきませんか？



# み やま かい 尾長野 深山会ふれあいサロン 作品展



尾長野深山会ふれあいサロンでは、参加者が家で作られた作品を、作品展として毎回サロン会場に飾られます。

「作品があると部屋が華々しくなりますね。明るい気持ちになります」とサロン参加者の皆さんは一つひとつの作品に見入っておられました。

絵手紙を作成された方は「サロンがあるときに、新しく一枚は書いていこうと思います。これも、自分のできる範囲で、無理なくするので、楽しくしています」と言われていました。

サロン活動者さんは作品展を通じて「作った方（参加者）と見る方（活動者）が、お互いに良い気持ちになるのではないかな」と話されていました。

活動者も参加者もお互いに出番（役割）があることで、居心地のいい場所になります。作品展を通じて、出番（役割）がもたらすパワーを感じたサロンでした。

## 朗読ボランティア こだま会(和知地区)

こだま会では、12名のサークル員が6名ずつ2班に分かれて活動されています。

町内の視覚障がいのある方に、町広報誌や議会だより、ほのぼらなどを朗読し、CDに録音してお届けされています。

CDを受け取った方は、「目が見えにくいぶん、聴き馴染みのある声で情報を届けてもらえるので嬉しいです。」と喜ばれています。

聞かれる方の事を思い、聞きやすい声の大きさや、発音などに気を付けて情報をお届けされています。



お問い合わせ  
連絡先

京丹波町社会福祉協議会 地域福祉課（榎川・山崎・上田）  
丹波支所 ☎82-0126 和知支所 ☎84-1833